



## 季節を感じる，生活を感じる —俳句・短歌の学習（6年）—



6年生が俳句づくり，短歌づくりに挑戦しました。

俳句は，五・七・五の十七音，短歌は五・七・五・七・七の三十一音で表現される一つの詩です。俳句は，季節を表す季語が織り込まれていることが条件で，世界で一番短い定型詩とされています。短歌は季語についてのきまりはありません。三十一音なので「みそひともじ」と呼ばれることがあります。どちらも短い言葉で心情や情景を表現するので，古くからある日本独特の文学ですが，何となく難易度が高いように思われがちです。その俳句や短歌に6年生が挑戦しました。指を折りながら文字数え，一生懸命に自分の思いを伝えようと考えている姿が思い浮かびます。

教室近くの廊下にたくさんの作品が掲示されています。いくつかを紹介します。



【短歌】  
春の朝 学年変わり 花がまう  
天までとどけ 希望の光

別れの日 悲しい思い おねにとめ  
あたたかい春 いっしょに歩もう

学校の 最後の時を 大切に  
みんなの思い 心にのせて

【俳句】  
ホーホケキョ もう春が来たよ 歌っている  
たんぽぽと 各地へ旅する ふわふわと  
ピカピカと 輝く背中 ランドセル

どの学年も学習成果等を教室や廊下に掲示し、お互いのよいところを認め合い、高め合つことができるよう工夫しています。一定期間掲示後、家庭に持ち帰ります。ご覧になられましたら、よいところを認め、ほめていただくようお願いいたします。次の学習への意欲につながります。

## ★★お知らせとお原い★★

体育大会の練習を熱心に行っています。

どの学年も，体を存分に動かし，みんながひとつになってよりよい演技や競技ができるよう張り切っています。このところ，気温が高い日も多く，子どもたちは，大粒の汗を流しながら，取り組んでいます。熱中症対策と感染症防止対策として，45分間の練習中にも給水タイムを設けたり，人から離れたところでマスクをはずし，大きく深呼吸して呼吸を整えたりするなどの取り組みをしています。体育の時間に限らず，休み時間など，子どもたちはよく運動します。こまめな水分補給が大切です。汗拭き用のタオルとたっぷりのお茶を持たせるようお願いいたします。